

北陸で学ぶ日系パラグアイ研修員

～デイケアと介護予防を学んで～

研修員 in 北陸



JICA 北陸では海外からの研修員を招いて、それぞれの地域の特色を活かし、大学や団体の協力により農業や教育などさまざまな分野で、技術研修を行っています。

受け入れ機関 石川県立看護大学・羽咋市社会福祉協議会
期 間 7月～9月

ある日の研修

かほく市のいちご会で回想法について学びました

回想法とは…？ 人生の歴史や思い出を聞いたり話すことにより、五感に働きかけ記憶を呼び起こし、認知症の予防に役に立つもの

本日のテーマは **夏の思い出！**
夏の風物詩についてみなさんでお話しましょう

あちらでも茶話会を行っています。今日のように昔の話題を題材にして話すというのは初めて。活動しているボランティアサークルでも今度試してみたいです！

まずは自己紹介
パラグアイはちょうど日本の反対側にあるんですよ

そんなに遠いところからおいでたんやね
夏は浜辺に裸足で遊びに行ったね！
昔の夏には欠かせなかった蚊帳や風鈴も取り付けられました
蚊帳を張って、家族みんな一緒に寝たもんやわ



研修員 久保 優子さん

※かほく市の認知症予防活動ボランティア組織「いちご会」は2003年12月、同市の県立看護大と地域住民が認知症予防を目的に設立。会員が楽しみながら認知症を予防し、地域の予防活動を推進する県内でも例のない組織。



代表的なお菓子の chipas (チーパ) マンジョカ¹とトウモロコシの粉を使いアニスシード²で風味つけたクッキーのようなお菓子

1. 別名キャッサバは南米原産。根はデンプンを多く含み、タピオカにするなどして、世界中で食べられている。
2. 地中海東部地域を原産地とするセリ科の植物。香辛料や油として使用される。

国際協力を北陸の伝統文化に vol.2

団体紹介 in 北陸

このコーナーでは、北陸3県で国際協力に取り組まれている人々を紹介していきます。

NPO法人 地球の夢

2004年のインド洋スマトラ島沖で発生した地震に伴う津波の被害の支援をきっかけに設立。その後、国内外での支援活動を精力的に続けていっています。当機構とは「市民参加協力事業」(海外プログラム)を通して、スリランカでの定置網敷設事業に関する技術指導、調査などで国際協力をいただいています。



わたしにとっての国際協力は…

会長 川淵 映子さん

この写真はJICA'S World 7月号(当機構月刊誌)にも掲載されました



役員・会員のみなさん



となみチューリップフェアでのチャリティーバザールにて (富山県)

市民参加協力事業とは、国民参加協力事業のひとつで「国際協力活動に取り組みたい」という意欲を持つ市民の活動をJICAが支援する事業です。

JICA ボランティア

平成21年度秋募集開始！！

募集期間

10月1日(木)～11月9日(月)

世界も、自分も、変えるシゴト



JICAボランティアの募集説明会を行います。ボランティアの制度、OB・OGの体験談、皆さんの疑問・質問にお答えします。是非、お越しください★

【青年海外協力隊 シニア海外ボランティア】 20～39歳 40～69歳

あなたも、国際協力の現場へ！

【福井県】

青年海外協力隊・日系社会青年ボランティア
10/4(日) 14:00～16:00 福井県国際交流会館
10/17(土) 14:00～16:00 福井県国際交流会館
10/28(水) 19:00～21:00 AOSSA
シニア海外ボランティア・日系社会シニアボランティア
10/17(土) 10:30～12:30 福井県国際交流会館

【富山県】

青年海外協力隊・日系社会青年ボランティア
10/3(土) 13:00～15:00 富山県民会館
10/14(水) 18:30～20:30 サンシップとやま
10/25(日) 13:30～15:30 サンシップとやま
シニア海外ボランティア・日系社会シニアボランティア
10/3(土) 10:00～12:00 富山県民会館
10/25(日) 10:00～12:00 サンシップとやま

【石川県】

青年海外協力隊・日系社会青年ボランティア
10/7(水) 19:00～21:00 野々市町情報交流館 カメリア
10/10(土) 14:00～16:00 石川県立生涯学習センター
10/18(日) 14:00～16:00 地場産業振興センター
10/29(木) 18:30～20:30 金沢勤労者プラザ
シニア海外ボランティア・日系社会シニアボランティア
10/10(土) 10:30～12:30 石川県立生涯学習センター
10/18(日) 10:30～12:30 地場産業振興センター

詳しくはHPへ

JICA北陸ホームページ 海外ボランティア事業

※予約は不要、途中の入退出も自由です。

教師海外研修 in ウガンダ

ナイルの源流と赤道直下の国ウガンダより



JICA北陸では、毎年北陸3県の教師を対象に教師海外研修を行っています。本研修は、開発途上国の現状、日本との関係や国際協力への理解を深め、次世代を担う児童・生徒の国際理解教育に役立ててもらおうことを目的としています。

北陸の教師、アフリカの大地に立つ！



水汲みを体験する参加者(井戸から約300mの家まで運んだ)

主な研修内容

- 【青年海外協力隊の活動現場視察】小学校、中学校、小学校教員養成校、病院、クリニック、森林保護区野生動物教育センターなど
- 【ウガンダの人々の生活体験】児童の住居視察、水汲み体験、マーケット見学(首都)
- 【専門家のプロジェクトサイト視察】※理数科教育プロジェクト、ネリカ米振興プロジェクト
- 【アフリカの自然を見学】ナイル川ブジャガリの滝(ビクトリア湖近く)、赤道

※ネリカ米(New Rice for Africa) 米増産計画のためアフリカに導入された品種名。乾燥や病虫害に強く、短期間で育つ。

7月26日～8月5日 in ウガンダ 参加者：4名



福井県立敦賀高等学校 神田 実さん



金沢市立伏見台小学校 岡野 優子さん

■アフリカでも携帯電話は普及していたが、印象は日本社会のように機械に心まで売っていないこと。今回の研修で触れたアフリカは、ほんの一部が見た目は貧しくも心は貧しくはなかったと感じた。逆に日本社会の方が、間違いなく心の貧困は進んでいると…。

■とても穏やかな気候の中、豊かな食べ物に囲まれて暮らすウガンダの人々を見て、アフリカ=貧困・飢餓ではないと感じました。また、たくさんの現地の人々や協力隊員のみなさんに出会い、心が通い合うことへの喜びを知ることができました。世界を身近に感じ、「国際理解」への大きな一歩を踏み出すことができたと思います。



加賀市立金明小学校 福永 憲昭さん



福井県立福井農林高等学校 長谷川 恵里子さん

■夕方水分補給で村の雑貨屋に寄ったときのこと。子どもたちが遠巻きに僕たちをのぞいていた。手を振りたり声をかけたりすると、最初、笑いながら逃げたが、徐々にその距離が縮まっていき、すぐに子どもたちと手を取り合って遊ぶ仲になっていた。そのうち村の子どもがたくさん集まってきて、お祭りさわぎになってみんなで写真を撮ったのが忘れられない。それにしても、ウガンダのナイルビールは味わい深かった。

■遠いアフリカであれ、繋がっている。人、風、景色、そして何より子ども達のあふれる笑顔…直に触れた私は、もうニュースを聞き流したりはしない。私たちが失ったものを持ち、農業や教育にまだまだ夢と希望のある国。彼らの笑顔のために、日本が私ができることをこれから教育の中で子どもたちと探したいと思った研修であった。